

繁殖部会から

「和牛の五輪」 鳥取県で開催される



全国和牛登録協会主催による第9回全国和牛能力共進会が、昨年10月11日から14日まで鳥取県米子市、境港市で盛大に開催されました。種牛の部（313頭）は崎津工業団地、肉牛の部（181頭）は鳥取県食肉センターと2会場で行われ、夫々両会場で最終比較審査に挑みました。

今回の共進会テーマは「和牛再発見！地域で築こう和牛の未来」。肉専用種として求められる産肉能力、再生産を保証する種牛能力。これらのバランスがとれた和牛改良を目指すことにあります。

会場内にはブランド名の入ったノボリが所狭しと立てられ、地域の出品牛が紹介されるたびに大きな歓声と拍手が巻き起こっていました。全国から応援に駆けつけた人や一般市民で会場は超満員。会場内に入りきれない人も出るほどでした。



イベント会場では鳥取和牛1頭の丸焼き実演や県内産品の販売などに長蛇の列ができ、大賑わいを見せていました。

共進会の結果、宮崎県が9区のうち7区の優等賞1席を受賞し、圧倒的な強さを見せつけましたが、北海道も負けてはいません。第5区（繁殖雌牛群）優等賞5席、第6区（高等登録群）優等賞4席、

第9区(去勢肥育牛)では上土幌町農協肥育試験センターのHK 80(北平安)、(母の父:平茂勝)、枝肉重量441.7kg、ロース芯面積68cm²、BMS-No.11、格付-A5で優等賞5席。同じく9区で幕別町糠内、山田貴赦氏のHK 80、枝肉重量479.1kg、ロース芯面積59cm²、BMS-No.8、格付-A5で優等賞19席を受賞しました。

今回の審査ではやはり栄養度、体型、肉質について厳しい審査が行われましたが、順位とは別に各県の基礎牛造りに対するこだわりは実に興味深いものがありました。

(音別白糠支所家畜改良課 技師 高橋 徹)

各区の優等賞1席

第1区:若雄	宮貞福 (父:岡茂福)	鹿児島県肉用牛改良研究所
第2区:若雌の1	かみさつき (父:上茂福)	宮崎県 興梶哲法所有
第3区:若雌の2	まみ (父:糸北国)	宮崎県 一万田七郎所有
第4区:系統雌牛群	ふくみつ (父:福の国) ちよひら (父:安平)	たかひめ9 (父:福桜) ゆりふく (父:福之国) 宮城県 西臼杵支所
第5区:繁殖雌牛群	たかこ (父:日向国) さかえ (父:安平)	さくら (父:安平) やさか (父:安平) 宮崎県 宮崎中央支所
第6区:高等登録群	まつよし7 (父:平茂勝) まつてる1 (父:満清福)	まつてる (父:照秀長) 大分県 玖珠町和牛改良組合
第7区:総合評価群	ひろみ・さやか・ふくひめ・ひろこ	種雄名 糸北国 宮崎県支部
第8区:若雄後代検定牛群	光 ・ 大平14 ・ 正太	種雄名 安平桜 宮崎県
第9区:去勢肥育牛	日向之安 (父:日向国)	宮崎県 福永 昇所有